

令和5年 3月 24日

豊水小学校保護者 様

玉名市立豊水小学校
校長 木場 秀敏

令和4年度 後期学校評価（保護者アンケート）の結果について

春分の候、豊水小学校保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと拝察いたします。後期の学校評価保護者アンケートについてご回答いただき、大変お世話になりました。全保護者からご回答いただいたアンケート結果を集計・分析し、今年度の後期学校評価としてまとめましたのでお知らせします。なお別紙に各質問項目の結果（平均得点及び肯定的回答比率）を掲載しております。

○保護者の評価から見てきたこと【課題と改善点】

アンケートは4段階評価ですので、得点においては2.5以上、肯定的評価においては80%を「良い評価」と考えています。まず、得点から見ると、29項目中27項目が3.0以上であり、29項目の得点の平均は3.4と高い得点でした。また、「4」あるいは「3」と回答した肯定的評価の比率から見ると、29項目中22項目が90%以上であり、全29項目の平均は93%でした。これらのことから、全体的に「良い結果」と判断できます。

特に「お子さんは毎日楽しく元気に学校に登校していますか」という項目について、前期以上の3.7という高い数値が得られており、児童アンケートにおいても同様の質問に対し3.8が得られていることから、学校生活を楽しく過ごすことができていることを児童・保護者ともに実感されていることがわかります。本年度は、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門機関と連携し、子供の悩みの解消や自尊感情の向上に資する取組にも力を入れてきたのですが、その成果が表れているという見方もできます。

さらに、学校全体における取組に関する質問項目（19～29）については、どの項目も3.4以上（平均3.6）の高い得点であり、「信頼される学校づくり」という観点においては、保護者から学校に対して信頼を得られていることが推測できます。特に、美しい学校環境に関する質問項目については全項目中最も高い数値（3.8）を記録しています。美しい学校環境は、子供たちが安心して、落ち着いて生活を送る上での重要な要素です。充実した学習活動は美しい環境を土台に成就されます。これからもこの美しい学習環境を維持するための努力を続けていきたいと思えます。

しかし、前期と比較すると、得点においては29項目中9項目が、肯定的評価においては29項目中8項目が、わずかではありますが低下しており、今後の課題であると考えます。特に下記の2項目が、得点において3.0及び肯定的評価比率70%を下回っている項目でした。

○「4. お子さんは進んで読書をしていますか」

得点:2.9(前期比較+0.04) 肯定的回答:60%(前期比較-4%)

○「5. お子さんはテレビやゲームなどの時間・家庭のルールを守っていますか」

得点:2.8(前期比較+0.06) 肯定的回答:62%(前期比較+3%)

昨年度から本年度前期の保護者アンケート結果から引き続き、「テレビやゲームなどの時間・家庭のルール」そして「読書」については、本校の課題の一つです。しかし、後期の児童アンケートによる評価結果では、「読書」「テレビやゲームの時間、家庭のルール」共に前期よりも「できた」と答えた子供が多くなっており、保護者と子供との間に意識や実感の差が見られます。読書においては、本の貸出冊数や量、児童が選ぶ本の内容・質ともに大きな個人差が見られますが、図書担当や図書室補助員、そして担任が連携して、読書に関わる楽しいイベント等を推進してきた結果、本に親しむ子供の数は確実に増えています。年4回のノーメディアデーの実施や読書活動推進のためのさまざまな取組により、得点は3点未満とはいえ前期よりも向上している点はプラスに受け止め、今後もより工夫した取組を引き続き行ってまいります。さらに単に図書貸出冊数の比較だけでなく、学年に応じた選書の質や内容につ

いての指導・支援も必要です。再度ご家庭でも「豊水っ子ゲーム・インターネット・スマホ利用5ヶ条」及び各ご家庭での決められた時間・ルールをご確認いただき、節度ある生活が送れますようご協力をお願いいたします。

また、自尊感情、自己有用感に関する項目(項目18)の得点を見ると3.0以上とはいえ、他の項目と比較すると得点は低く、「自分の考えに自信が持てない」「人前での表現が苦手」といった気持ちが子供たちに感じられます。ティーチャーズ・トレーニングの手法をさらに活用し、子供たち一人一人を認め、褒め、励ましていくことをベースに、また地域や他校との交流を重ねることで集団の中で自尊感情・自己有用感を育めるような取組を今後も継続していかねばならないと考えます。

自由記述欄において、学校へのご意見、ご感想を3件いただきました。ご意見の全てを職員で確認し、できることから前向きに検討し、取り組んでいきたいと思っております。

◆学級通信を通じて子供達の様子や取り組み内容等を沢山届けて頂いているので、良い学びをしていると良く感じます。また通信の中に先生の経験談や思いを綴ってある時は読んで感じた事が子供、夫婦の会話のきっかけになったりしています。通信の作成も大変と思いますが、毎号内容を楽しみにしています。

○学級通信をしっかり読んでいただき、ありがとうございます。学級通信は、学校での子供たちの様子を知っていただくための大切なメディアの1つであると同時に、担任の思いや考えを伝え、おうちの方と一緒にお子さんの教育や生き方等について考えていただくためのツールでもあります。今後も学級通信の内容の充実を目指して、職員一同取り組んでまいります。

◆今の担任の先生にお世話になって、凄いい子が伸びたと思います。子供と一生懸命向き合ってもらえてます。宿題を出される時の漢字のノートのお手本も同じのを書くのではなく、色々な漢字をお手本に書かれて音読み訓読みなどの勉強も取り入れてもらってるし、プリントの宿題でも、もちろん漢字ですが、全で一問一問しっかり見て頂きコメントも書いて頂き子供も頑張ってます。

○このメッセージから、子供さんの宿題の様子を日頃から気がかけて見ていただいていることが伝わります。いつもありがとうございます。ノートやプリントに残る担任からの的確な指導や温かいメッセージは、子供たちのやる気や成就感につながる大切なものです。担任のコメントとともに、おうちでもお子さんへの温かい励ましやねぎらいの言葉をよろしく願いいたします。

◆子供たちが楽しんで豊水小学校に通うことができました。これまで見守り、育てていただきありがとうございました。

○これまで本校の教育諸活動に温かいご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。本校では、子供たちが「毎日楽しく行ける学校」を目指して職員一同取り組んできましたが、中学校に進学されても、毎日楽しく充実した学校生活を送れますように応援し続けます。本当にありがとうございました。

保護者の皆様方からご回答いただきました学校評価から、本年度の取組を基本路線として更に徹底した取組を行い、さらなる向上(レベルアップ)を目指します。次年度への展望として、児童・保護者・学校運営協議会委員・教職員のそれぞれの学校評価において、成果と課題として見えてきたことの中から、次年度は次の内容について重点的な取組を行いたいと考えます。

- 1 適切なメディアの時間及び家庭学習の定着が充実するよう保護者との連携を深める。
- 2 子供たちの主体的な学習を重視するとともに、個に応じた学習指導・支援を徹底する。
- 3 自己肯定感の育成のための「認め、ほめ、励まし、伸ばす教育」を推進する。
- 4 地域学校協働活動推進員をより活用し、地域と共にある学校づくりを推進する。

昨年度から本校にもコミュニティ・スクールが導入され、2年目となる本年度は学校運営協議会や地域学校協働活動推進員と連携した取組が進みました。今後もPTAを中心とした活動・研修等を重ね、家庭と学校、地域一体となった教育活動に取り組んで行く所存です。また、子供たちが成長している姿を、学年だより、学校だよりの配付やホームページの定期的な更新によってお伝えし、保護者・地域からより高い評価をいただけるように、学校総体として取り組んで参ります。

*皆様のご支援、ご助言等今後もよろしく願いいたします。ご協力、ありがとうございました。

*全アンケート調査結果は、豊水小学校のホームページに掲載いたします。